

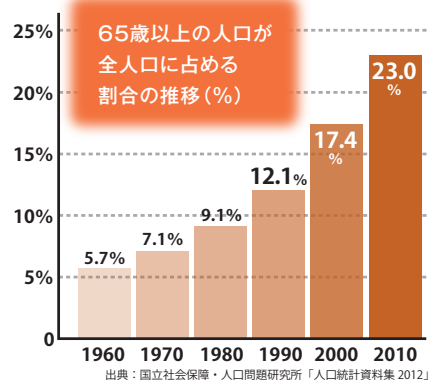
社会保障制度改革国民会議

国民会議 って、どんな会議？

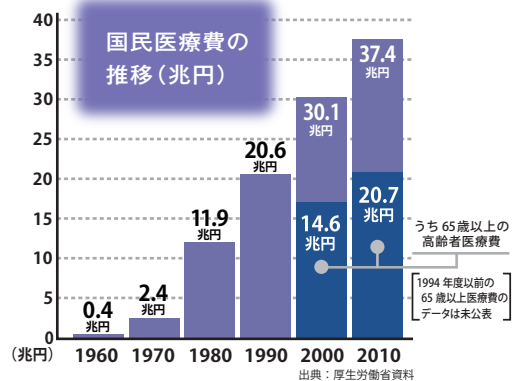
社会保障制度改革国民会議は、医療・介護・年金・少子化対策の4つの分野の今後のあり方を議論するために法律により2013年8月迄の期限付きで設置された会議です。国民会議での議論が、医療保険制度を維持していくうえでとても重要なものとなるのです。

医療分野では、少子高齢化による人口構造の変化と増え続ける医療費によって、現状のしくみでは支えきれなくなってきました。このため、国民会議では、「国民皆保険」を持続・安定的な制度とすることが最大のテーマとなります。また、国民全体で高齢者医療費を支える新たなしくみづくりが求められています。

進む高齢化



増大する国民医療費



健保組合・健保連は国民皆保険制度の持続性、安定性という将来の姿を示したうえで、それに向けた制度改革を実現するように強く求めています。

制度改革では、次の点がとくに重要と考えます。

- 高齢者の医療は国民全体で支えていく必要があります。現在、現役世代の負担が過重なものとなっており、その負担バランスを是正して、税金(公費)の投入割合を増やすべきです。
- 国は増大する国民医療費の伸びを抑制するための具体策を示し、実行すべきです。